



な かり く ご う

強く正しく美しく みんな仲よし仲六郷

大田区立仲六郷小学校
令和4年9月26日
校長 近藤 重善

読書の秋に思うこと

副校長 工藤 由美子

10月3日から読書月間が始まります。本校の図書室は4階にあるため、読書学習司書の先生をはじめ、図書委員がいろいろ企画を出し合い、たくさんの方が興味をもって来室してほしいと工夫をしています。

2年ほど前の調査では、小学生の1か月の平均読書冊数は3冊（30年前の1/3に減少）だったそうです。一方、まったく読まない人は全体の約2割。大田区教育委員会では、平成15年以来「大田区子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に努力し、1か月に1冊も本を読まない子どもの数を減らそうと努めてきました。

『読書をプロデュース』（角田陽一郎著）では、若者が本を読まない理由を5つ挙げています。

①つらい②時間をもたない③楽しくない④書き手が知らない人だから⑤ネットの方が便利だから

文庫本1冊には10～20万文字が綴られています。膨大な活字を読み進めるのは苦痛で、勉強の延長に感じているのでしょうか。また、読書には、文字情報をビジュアル（光景）に変換する作業が必要です。読書の醍醐味はそこにあると私は考えるのですが、読み慣れていないとそれが楽しくない、つらいになってしまうのです。楽しいと思えないから時間を惜しいと感じるし、④も然りなのでしょう。一方、筆者はエンタメの1つである読書を便利不便で語られることに違和感を訴えていました。今やマンガでさえも以前に比べ、読まれなくなったそうです。

読書は豊かな心や知識、想像力、集中力やコミュニケーション力を育みます。読書に勤しんでほしいからこそ、「面倒臭い」と思うようになる以前の体験はとても重要です。文科省の調査で、小学生の「読書をするきっかけ」第1位は、「家族と一緒に本を読んだり図書館や本屋に連れて行ってくれたりすること」で50%超えだそうです。

「ありますか 本の思い出 作ろうよ」
「見つけに行こう自分の好きな一冊を」

今4年生と5年生の廊下に掲示されている読書標語から見つけました。

毎日お忙しいとは思いますが、10月17日からの「家読（うちどく）」の試みがぜひ、子どもたちにとっても、保護者の皆さんにとっても心ゆたかな楽しい時間になってほしいと願っています。そして、期間が過ぎても本が家族のコミュニケーションツールになってくれたら嬉しいです。



10月の生活目標

「外で元気に遊ぼう」

生活指導部 小野 有紀子

発育測定時の保健指導で、睡眠の大切さについて話しました。成長ホルモンの分泌図を見せ、子供は夜21時から朝6時までしっかり眠ると骨の成長も助けると伝えました。女子は14歳、男子は17歳位で成長軟骨が固まるので、それまでにいかに「睡眠・運動・栄養」を心がけるかで成長具合が変わります。毎日、外で元気に遊び、身体が疲れ、夜は自然と眠くなるといった生活習慣を付け、心身共に健康な生活を心掛けましょう。



10月の主な学校行事

1	土	(都民の日) 土曜授業日 土曜補習教室3	
2	日		
3	月	委員会活動 早寝早起き朝ごはん月間始 読書月間始	SC
4	火	補習教室 秋の読書週間始	
5	水	午前授業	
6	木	避難訓練	ALT
7	金	読み聞かせ 補習教室	ALT
8	土	ルーテル幼稚園運動会	
9	日		
10	月	スポーツの日	
11	火	安全指導 移動教室事前検診(6) 補習教室 秋の読書週間終	
12	水		
13	木	移動教室(6・とうぶ)始	
14	金	移動教室(6・とうぶ)終 小連合図工展始	
15	土		
16	日		開
17	月	全校朝会 クラブ活動 家読週間始	SC
18	火	補習教室	
19	水		
20	木	小連合図工展終	ALT
21	金	連合音楽会(5)	ALT
22	土		
23	日	家読週間終	
24	月	クラブ活動	SC
25	火	補習教室	
26	水	就学時検診 午前授業	SC ALT
27	木	午前授業	ALT
28	金	生活科見学(1・2) 補習教室	ALT
29	土		
30	日		開
31	月	全校朝会 早寝早起き朝ごはん月間終 読書月間終	

スクールカウンセラー来校日→ SC
外国語指導講師の来校→ALT
PTA 校庭開放 → 開

※ 感染症拡大の状況を鑑みて予定が変更になることもあります。

委員会・クラブ紹介

特活部 大橋 千晶

委員会は毎月1回、クラブは毎月1～2回、月曜日の6校時に異学年の児童が集まって活動しています。

委員会は5・6年生(代表委員会には3・4年生も参加)が、全校の子ども達が楽しく快適に学校生活を送れるよう様々な仕事をしています。今年度は代表委員会、図書委員会、放送委員会、集会委員会、保健運動委員会、栽培委員会、給食委員会の7つです。

毎日、給食時の放送をしている放送委員。放送終わりのじゃんけんは、子どもたちはもちろん教職員も楽しみにしています。



クラブは4～6年生で、それぞれ興味のあるクラブに所属しています。今年度は屋内スポーツ、屋外スポーツ、卓球、イラスト、工作、音楽(金管)の6つです。

委員会もクラブも、児童の自主性を大切に、子ども達から出てきたアイデアを最大限実現できるようサポートしています。

算数習熟度別学習

算数少人数担当 森 勝美

本校では、児童に基礎基本を確実に身に付けること、児童一人一人の学力を伸ばすことをねらいとして、3年生から6年生までの児童を、基本的に3つのクラスに分けて算数の授業を行っています。(※単級の4年生・5年生は、2つのクラスに分けています。)

習熟度別学習を行うことにより、児童の学習状況に合わせたきめ細やかな指導や、児童の個に応じた能力をさらに引き出すことを目的としています。

単元ごとに少人数別にクラス編成を行う際、レディネステスト等を実施し、「既習事項の復習をしながら、問題にじっくり取り組み、基礎基本を身に付ける」「学ぶ楽しさを味わい、基礎基本の習熟を図る」「問題解決能力を高め、さらに発展的な問題にも取り組む」のクラスに分けて指導しています。

系統性の高い算数の学習においては、各学年での学習の積み重ねがとても大切です。

東京ベーシックドリルや大田区ステップ学習の取り組みと合わせて、児童の学力向上を目指し、指導をすすめています。



読書月間

図書主任 松橋 勇
読書学習司書 蟹澤 典子

朝晩の気温が少しずつ下がってきて、読書をするにはぴったりの季節になってきました。10月3～31日は秋の読書月間です。スキマ時間を見つけて読書の時間を増やしてみたいはかがででしょうか。

図書室では、図書委員会が中心となって読書イベントを開催します。給食とコラボした「読書クイズ」「お昼休みに読み聞かせ」「何がでるかな?図書くじ!」など低学年から楽しめるイベントを計画中です。

図書委員会が頑張っている姿を見て、図書室に行ってみようかな、私も読んでみたい!と読書活動が広がるきっかけになれば嬉しいです。

また、10月4～11日までは読書週間として、学校全体で毎日「朝読書」に取り組みます。短時間に集中して読む力を身に付けてほしいです。

ご家庭でもお子さんと一緒に「読書の秋」を楽しんでみてください。



「家読」(うちどく)の取り組み

10月17～23日はご家族で読書をしたり、本に関する会話をしたりしてもらうために家読(うちどく)を実施します。

お子さんから読み聞かせをしてもらうのもよし、1ページずつ順番に読むのもよし、各ご家庭でやり方を工夫してみてください。新しい発見があるかもしれません。

「家読チャレンジカード」を持ち帰りますので、10月24日(月)～28日(金)までに各担任に提出してください。

ご協力よろしくお願いいたします。

お知らせ

早寝早起き朝ごはん月間について

10月3日(月)から10月7日(金)まで、「早寝・早起き・朝ごはん」チェックシートの記入を行います。項目は、①就寝時間 ②起床時間 ③朝ごはん ④排便 ⑤手洗い・うがい ⑥はみがき についてです。

9月16日(金)に学校保健委員会を開催し、担任の先生から、朝ごはんを食べてきていない児童が、給食の時にそれを補うかのようにたくさん食べようとする傾向があるといった話がありました。朝、糖분을摂取することで脳が活性化します。朝ごはんはその日の学校生活の成果が異なります。又、授業中に寝不足のため寝てしまう子もいて、数時間保健室で寝かせるということも時々あります。健康な生活を送るために、「睡眠・栄養・運動」は大切です。

毎日の基本的な生活習慣の見直しと意識付けをご家庭でも話し合いながら取り組んでいただくと、学校生活も一層充実したものとなると考えています。

--	--